



日本環境衛生センター 隔月広報紙

JESC-INFO

2023年

10月号



本内容に関する問合せ先：

一般財団法人 日本環境衛生センター 管理部企画広報課

TEL: 044-288-5095,

Email: koho@jesc.or.jp

廃棄物処理施設の整備等にかかる低コスト研究会

「廃棄物処理施設の整備等に係るコストの削減方策について（提案）」を環境省へ

本研究会は、2023年5月から8月まで、全3回の研究会（座長：多摩大学グローバルスタディーズ学部特任教授 橋詰 博樹氏）を開催しました。

本会にてとりまとめた提案は、市町村等が管理する一般廃棄物処理施設の建設費等高騰の課題に対し、廃棄物処理に精通した大学研究者・企業・自治体等の多角的な視点から向き合っ

て作成されたもので、8月 21 日に環境省へ手渡しました。

研究会概要・提案はホームページに掲載中です。

ぜひご覧ください。

低コスト研究会

検索

★環境産業新聞『ザ・ウエイスト・マネジメント(9/5)』

『日刊工業新聞(9/7)』等に取り上げられました！



ACAP一般公開

4年振りの開催！70の研究者が地元小学生を中心に大気汚染問題を紹介しました

8月4日、アジア大気汚染研究センター（通称ACAP）の一般公開が新潟県新潟市内の同センターで開催されました。地元小学生と同伴者計63名が参加し

座学学習、施設見学、実験を通して、ACAPの事業領域である大気汚染について学びました。講師はACAP所属の研究者たち。

子供たちが楽しめるよう、説明をクイズ形式にしたり、

実験で使う白衣を用意したりと、様々な工夫がありました。

子供も大人も楽しみながら学べる、貴重な一日となりました。

活動報告はコチラ→ <https://www.acap.asia/4009/>



／／ ACAPではこんな事業もしています ／／

東アジア地域の大気モニタリングを強化するための

ADB（アジア開発銀行）共催の「ローコストセンサートレーニング」@ベトナム

大気モニタリングをするためのLCS（ローコストセンサー）は、一般市民へのデータ共有を中心として世界各国での普及が進んでいます。一方、多種多様なLCSが導入されることにより、データの精度・信頼性に課題があるLCSが導入されて混乱を生じている国もあります。

9月6日・7日に開催した表題の研修では、ADBや東アジア各国の大気質モニタリングの専門家や実務者、学識者、事業者等約100名以上に対し、LCSの適切な設置・使用方法やデータスクリーニング・解析方法の学習などを目的とした研修を行いました。

ACAPは、国際的に信頼性の高い大気モニタリングネットワークの構築に貢献しています。

アジア大気汚染研究センター

検索



最近のニュースをご紹介

災害廃棄物処理研修プログラム

災害に向けた事業として、日環センターでは災害廃棄物処理に関する技術支援から避難所の衛生対策等についての人材育成まで、大規模災害時の生活環境への対応について支援を行っています。

8月29日には、山梨県請負「災害廃棄物対策支援業務」の一環として、表題の研修を実施。今年度は職員有志がスタッフとして参加し、日環センター一丸となり業務にあたりました。午前は座学での事前学習、午後は災害廃棄物の仮置場設置・運営等実地訓練が行われました。本研修に参加した自治体職員・産廃処理関連団体46名は、大変な猛暑の中でも、本番さながらの様子で真剣に訓練に取り組んでおられました。本研修の様子は地元テレビ局等メディアにも取り上げられ、注目度の高いものになりました。



仮置場実地訓練の様子・山梨県

汚水処理分野のJICA研修を開催



日環センター初受注の汚水処理分野のJICA研修「分散型汚水処理システム導入・普及」を北九州市等で開催し、10か国11名が参加しました。福岡県内の自治体や企業、団体の協力と、日環センターのし尿処理・污泥再生処理施設の設計、施工管理及び機能診断等を実施してきた知見を活かしたプログラムとなっています。研修後も引き続き参加者と連携をとり各国の汚水処理の改善をサポートします。

／／その他 8月に実施した国際事業／／

フィリピン カバガン市訪日団が日環センターを訪問
(写真右：カバガン市一行。昨年度のJICA研修への参加を通じ、自国・カバガン市へのWTE導入を検討、促進するために再訪日されました。)



南川理事長が「中国の環境と開発に関する国際協力委員会（チャイナカウンシル）」年次総会へ出席 @北京市
(写真左：南川理事長とチャイナカウンシル副議長の解振華氏)

今後のごみ発電のあり方研究会

日環センターが主催する本研究会（座長：東京電機大学工学部電気電子工学科 教授 加藤政一氏）は、2013年の発足以来、ごみ発電電力を社会に供給する電力事業としてのあり方や、地域の脱炭素化への貢献のあり方等を検討し、成果を社会へ提言することを目的としています。

8月30日に本研究会を開催し、「脱炭素社会に向けたごみ発電の価値（分散型電源／レジリエンス／防災貢献／他電源との優位性等）について」、「出力制御及びオンライン制御に係るごみ発電の対応について」、「発電側課金の導入について」等をテーマに議論を行いました。

引き続き、当研究会の活動にご注目ください。



これまでの経過・報告は日環センターHPからご覧いただけます。

今後のごみ発電

検索

生活衛生関連セミナーを開催

日環センターでは、ねずみ・衛生害虫に関する事業を行っており、防除薬剤・機器類の効力を客観的に検証するとともに、害虫獣に関する最新の情報を発信しています。当部で最近開催した講習・講座をご紹介します。

令和5年度ヒアリ講習会（7月）

環境省請負「ヒアリ等の非意図的外来種侵入対策に関する普及啓発業務」において、現地对応者向け講習会を東京・名古屋・大阪の3会場およびオンラインで実施し、対面では297名、オンラインでは950名が参加しました。海外との物流に関わる関係者は、環境省が策定した「対処指針」に基づく対応が求められるため、関心の高い講習会となりました。

第10回保健所環境衛生監視員講座（9月）

今年2月に福岡県の老舗旅館で発生した一件を受け、「公衆浴場等のレジオネラ症対策」をテーマに日環センター主催でオンライン講座を開催しました。国立感染症研究所をはじめ5名の先生方に講演いただき、62名に参加いただきました。



\\ 詳細情報・お申し込み方法は日環センターHPに掲載中 //

今後開催予定のセミナー・講習

開催日時	名称	場所
①10/11(水)～12(木) ②11/ 1(水)～2(木) ③12/18(月)～19(火)	東京都連携 建築物石綿含有建材調査者 資格取得支援事業	①・②は品川フロントビル ③はクロスウェーブ府中
10/26(木) 13:30～15:00	環境と衛生オンラインセミナー	オンライン ※詳細・申込は下記に掲載
10/27(金) 9:00～16:30	災害時・避難所衛生リーダー 養成講座	日環センター東京事務所 (東新橋)
(基礎)12/11(月)～ (管理)12/18(月)～	廃棄物技術管理者講習 ごみ処理施設コース	ステーションコンファレンス 川崎及びE-ラーニング
(基礎)11/6(月)～ (管理)11/13(月)～	廃棄物技術管理者講習 し尿・汚泥再生処理施設コース	ステーションコンファレンス 川崎及びE-ラーニング
直近2か月の主な講習の開催内容についてご紹介しています。 その他のコース・日程についてもHPに掲載していますのでご覧ください。		

環境と衛生のオンラインセミナー

要予約・無料のZoomセミナーを開催しました

第14回 7月31日 テーマ：プラスチック資源循環法の現在地とこれから

講 師：環境省リサイクル推進室室長補佐、仙台市廃棄物事業部長、
日環センター 南川理事長、サステナブル社会推進部 齊藤特別参事
環境省・日環センターから廃プラ新法の概要や法施行後の全国の進捗状況等について、
仙台市（自治体認定再商品化計画第一号）から市の取り組みについて、講演及び対談を
行いました。「対談により自治体の課題に寄り添った情報が聞けた」と大変好評でした。

第15回 9月22日 テーマ：廃棄物処理施設の整備等における低コストに向けた取組

講 師：日環センター 南川理事長、環境事業第一部 藤原部長
「廃棄物処理施設の整備等にかかる低コスト研究会」（1ページ参照）で取りまとめ、環
境省へ提言を行った内容について紹介しました。

【次回セミナー情報】 10月26日（木）13:30～15:00に開催

テーマ：プラスチック資源循環法の現在地とこれから（その2）（仮題）
講 師：日環センター役員、プラスチック再商品化事業者（取組状況の紹介）（予定）
視聴希望の方は、こちらへご一報ください → jesc_seminar@jesc.or.jp

10月18日(水)・19日(木)に「生活と環境全国大会」を開催します
@福岡県北九州市—最新情報・参加申し込みについては日環センターHPをご覧ください—